

R-18

ティナ
スレイブ
ストーリー

清楚なロリが
奴隷にされて
好き放題される話

文字なしあり

基本CG 12枚!
本編 138枚!

桜水晶

ここは、ある富豪が持つ
地下牢……。

ここには奴隷となった女の子達が
収容され富豪達が弄ぶところ……。

捕まったら最後
穴という穴まで
犯し尽くされ
一生を迎えてしまうという……。

今日からここが
お前の住む場所だ。

うう…。

カア
カア
カア

こんな格好で
縛り上げられるなんて…
恥ずかしいよお…。

ティナちゃんと
言ったかな？。
随分小さくて可愛いねえ。

ふええ…。



では早速、頂くとしようかな。

ひっ!!

な、何するんですか？

はは。
何って決まってるじゃないか。

これからテイナちゃんの
可愛いぶにまん
私が入るんだよ？

ビュッ
ズン

ビュッ
ズン

ズン

そ、そんなっ
いやですっ挿れないでくださいっ！

すりっ♡
すりっ♡
びゅん
びゅん
びゅん

じゃっ♡

ぐん
ぐん
ぐん

ん？そうは言っても
もうぬるぬるで準備満タンじゃないか。
ティナちゃんも期待してたんじゃないかw
この淫乱娘め。

ちっ違っ…

ぐん





おお...
こんなにとろけるような膣内は
初めてだあ〜!

おっ♡処女まん最高〜!!♡♡

ズズ!!!

おおお!!!

あっ…!!
やめ…てくださいっ。
動かないでえろっ!!

こんな気持ちなのに
辞めるわけないだろ!

まだ自分が奴隷という
立場だということを
理解してないみたいよだな。

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

パンッ!!

パンッ!!

パンッ!!

パンッ!!





このっ!!!

んんん!!!

んんん!!!

締まりが随分よくなっただな。身体は正直じゃないか。

いつ痛いんですっ叩かないでえっ!

んんん!!!

んんん!!!

んんん!!!

んんん!!!

そっそんな...

そろそろ膣内に射精するぞっ!

んんん!!!





うおおっ…♡♡
めっちゃくちゃ気持ち良かったぞ♡

あっああ…

そっそんな…
本当にテイナの
中に白いのが…

ドドドド！！

ドドドド！！

ドドドド！！

ドドドド！！

ドドドド！！

ドドドド！！

ドドドド！！



誰も一回で終わるとは
言っていないぞっ!

なんで!?
もう終わったんじゃないっ

パッパッ
ガッガッ
ビュッ

パッパッ

ビュッ

パッパッ

パッパッ

ビュッ



気持ちいいぞっ!
おらっもっとな内絞める!!

パンパン!!

いざ!!

このおっ!

ぐわんあかあか!!!
パンパン

パンパン
ぐわんあか

いざ!!

パンパン



お尻叩かれて気持ちよくなる
なんてド変態女だなっ！

このっ！反省しろっ！

っかっ！！

パン！！

パン！！

っかっ！！

っかっ！！

ドクッ
あがっ！！
ドクッ

へっ変態じゃないですうっ！

ドクッ！！

っかっ！！



また射精するぞっ!

ご主人様の精液を
しっかりと
受け止めるよっ!

いやあああっ!

出さないでえええ!!

パンッ!!

ドクッ!!

んぎゅんぎゅん!!

パンッ!!

んぎゅんぎゅん!!

パンッ!!

パンッ!!

ドクッ!!

ドクッ!!



ドキッ

すごいぞっ！
ここまでの量は
初めてだあ！

ドキッ！！

ドキッ！！

搾り取られる！

ドキッ！！

ズッ！！

ドキッ！！

ドキッ！！

ドキッ！！

ドキッ！！

三日後

さあ今日も調教して
行くか…。

ティナ
ちゃんは…と。

あーいたいた。

やあティナちゃん
元気かな？

そろそろ慣れてきた
頃じゃないか。
ん？

.....ご.....ご主人様.....

ん？いいね。
いい感じに
奴隷らしくなってきたよ。





今日はティナがいつも
お世話になってる
おじさんのお〇んちゃんに
感謝を込めて
ご奉仕してみようか。

ふええっ!?…
ご…ご主人様の…
おち…
ですか…? // //

いいねえその反応。
未だに初々しい反応してくれる娘は
そうはいない。

ちゃんと
順序を辿って
教え込もうと思ったが
おじさん限界だよ。

え？え？？

もうはち切れそうなくらい
ピンピンに勃ってるよ。

その可愛いお口を
本能のまま犯し尽くして
あげるよ。

???





あああ気持ちいいい!

ティナのとろける口まんこ
さいっころだああ!

♡!!

♡!!

♡!!

♡!!

♡!!

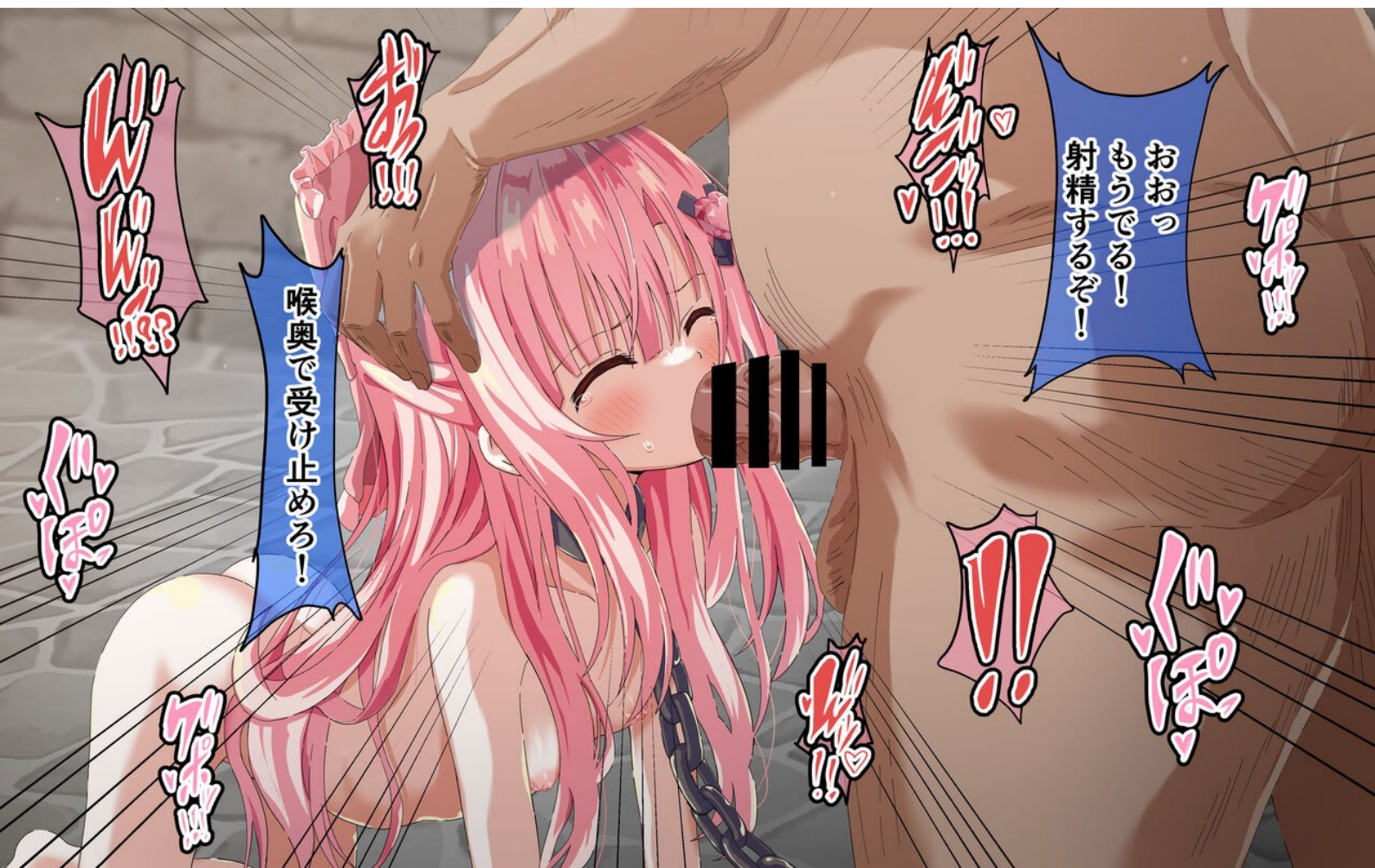
♡!!

♡!!



こんな小さなお口で
おじさんの30センチくらいある
ち○ちんがズッポリと啜え込まれているっ!

はあはあ...
すごいっ!



喉奥で受け止める!

おおっ
もうでる!
射精するぞ!

おっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!



でるっ!!

おおお!!!

ドゼ!!!

ドゼ!!!

ドゼ!!!

ドゼ!!!

ドゼ!!!



おおええっ…
ご主人様の
濃厚おち○ぽミルク
おいしかったです…

そうかWそうかW

が

が

とろろ…

おおお
おおお
おおお

ご主人様の
濃厚なミルクの味
はどうだ？

ふう…
でたでた！



じゃあもつと
味わえ!!

どうだ?
美味しいんだろ?
喉奥突かれるのも
気持ちいだろ!

カッ!!

カッ!!

カッ!!

カッ!!

カッ!!

カッ!!



そうだ、
いいものがあるぞ。

ふん
ケホッ

ケホッ

もっと
苦しめたくなるよ。

おえぞ!!!

らっほ!!!

その苦しそうな顔
たまらないなあ。

グン



これだよ。
おじさんと同じサイズの
ディルドだ。

これなら
ティナちゃんも
満足できるなw

やっそんな..
許してくださいっ！

ガッ

ブル

ガッ

ブル

ご主人様に口答えするなっ！

可愛い声出して
そんなに嬉しかったか。

んんん！！

んんん！！





じゃあこっちの
まんこも!



さっきよりも
唾液がいっぱい
気持ちいぞ。

回もまんこも
犯されるのが
好きみたいだな。
この淫乱娘め！



そろそろまた射精しそうだ！

大好きなざーめんミルク
いっぱい味わえ！

アッ！！

アッ！！

ハッ！！

アッ！！

ハッ！！

アッ！！

アッ！！

ハッ！！

アッ！！

ハッ！！

アッ！！

ハッ！！



うおっ
すごい搾り取られる!

最高のオナホだ!

二回目だがこんなにも
出してしまったよ。

ティナちゃんもいっぱい
気持ちよくなつたみたいで
何よりだ。

どろろ...

どろろ

おっおっ

どろろ

おっおっ

奴隷の面倒も
ご主人様の役目だからなw
なあ？

は...はい...
今日もいっぱい気持ちよく
していただき
ありがとうございましたあ...。

おっ

おっ



あれから
一週間が経過していた。

その間にも
ひたすら調教を
重ねていた。

テイナは精神的に
限界を迎えようと
していた。

そろそろ
ティナちゃんが壊れそうだし
心を安定させてあげないとな。

さて……
どうしたものか。

そうだ！
私のコレクションの一つである
あれをプレゼントして
あげよう。

おはよう
ティナちゃん。
昨日はよく
眠れたかな？

……あつ……
は……い……

ご……ご主人様……。

それは良かった。
今日は日頃頑張ってる
ティナちゃんに
ご褒美をあげよう
と思ってね。



ご褒美……

ティナはその言葉
にゾツとした

また何かされる
のではという
恐怖に怯えていた

その前に随分
汚れたねえ。

シャワーに入ること
を許そうじゃないか。

!!
いら...のですか...??



その媚びるような眼差しは
おじさんを一気に
昂らせた

ああ！もちろんだよ。
付き人に案内を任せてある
から行ってきなさい。

はっ、はい。
ありがとうございます！





おお
綺麗に
なったねえ。

はい！
おかげさまで

じゃあ約束通り
いいものを
プレゼントしよう

プレゼント
…ですか？





そらだ
あちらの付き人に
また案内して
もらいなあ

はー！

テイナは優しく
してもらえた
おかげで精神的に
回復したようだ





おお。
とても似合っていて可愛いよ！

ご、ご主人様…
これは？

さっきも言った通り
頑張ってるティナちゃんへの
ご褒美だよ。

気に入ってもらえたかな？

はい！
ティナ、この
お洋服可愛くて好きです！

よほど気に入ったのか
今までにない明るく
元気な声である。

泣いている顔も
可愛いが
こうして喜ぶ顔も
可愛いな。

じゃあ、
その格好で
おじさんにご奉仕
してみよっか。

はい！

………

……え………？

突然のことだったのか
可愛い服で浮かれていたのか
何を言われたのか
理解せず返事をしてしまった
ティナは徐々に後悔し始める。


そうか！そんなに喜んでご奉仕してくれるなんて思わなかったよ！

ちっちがっ

ん？
ティナちゃんは一度了承してくれたのにやっぱり嫌だって言うのかな？
そんなに地下牢に戻りたいのかな？

よ…喜んでご奉仕…させていただけます…。

よろしい。



先ほどまでとは一変
して一気に絶望へと
落とされた

一瞬の幸せが
逆にさらなる
苦痛を与えていた

さあこっちへきて
おじさんのち○ぽを
舐めなさい。

は…は…

恐る恐る近づいてく
てイナだった。



うう…
離れていても
イカのようなすごい臭いが
ここまでしてくる…

それにいつもより
大きいような…？

おじさんのお
お気に入りであるフリフリの服を
ティナちゃんが着ているせいか
いつも以上に勃起してギンギンである。

ギン
ギン





はあはあ…
早くきなさい。

こんなに可愛い
服着ているのに
おち…んちん
舐めちゃうなんて
えっちだよお…。

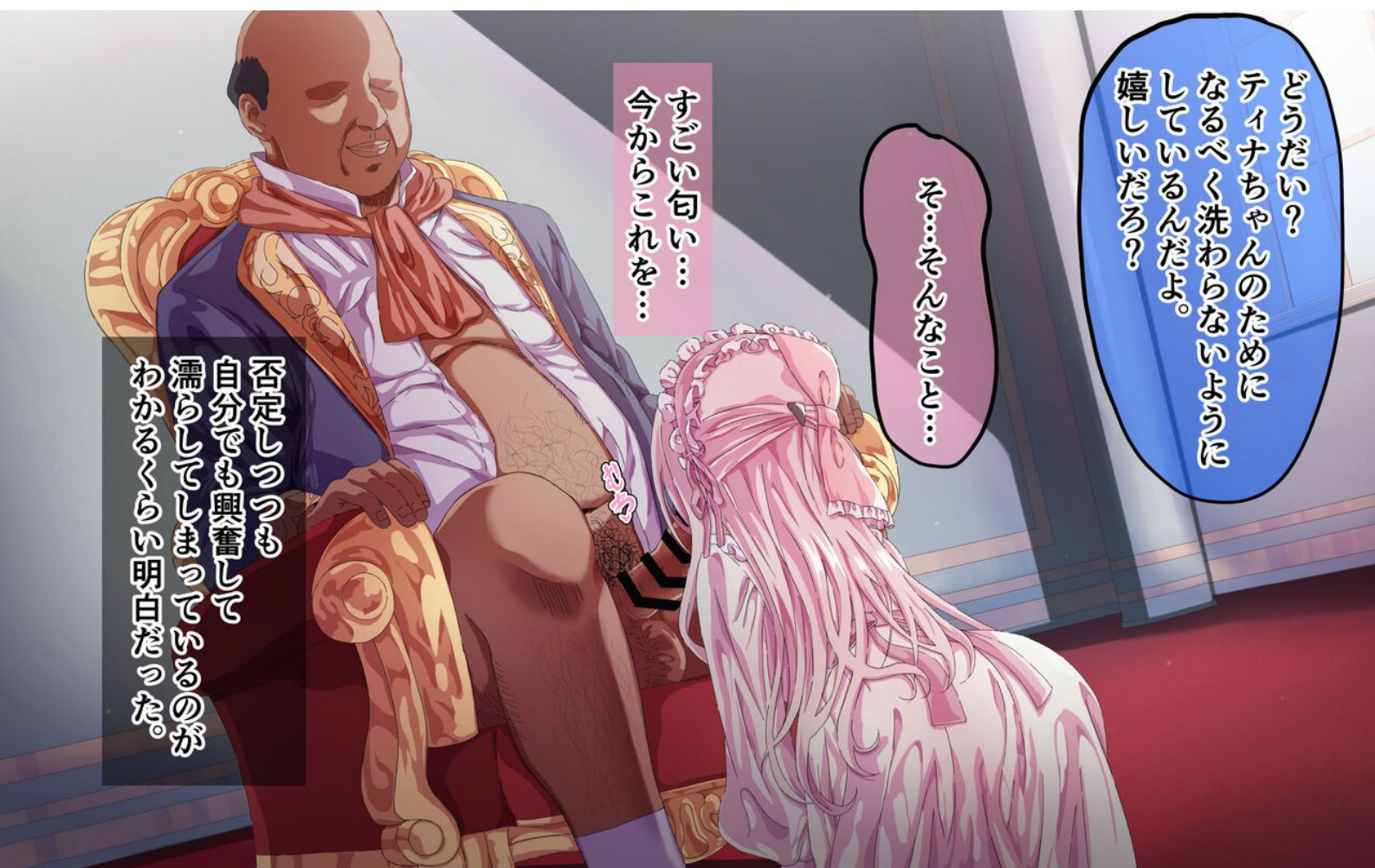
テイナちゃんも
いやいやながらこの
シチュエーションに
興奮しているのか
ま○こを濡らしながら
近づいていく。

どうだい？
ティナちゃんのために
なるべく洗わないように
しているんだよ。
嬉しいだろ？

そ…そんなこと…

すごい匂い…
今からこれを…

否定しつつも
自分でも興奮して
濡らしてしまっているのが
わかるくらい明白だった。



まずは
先っちょの方に
キスをするのがマナーだ。

へっ!?

驚きを隠せずに
つい変な声をあげるティナちゃん。
ファーストキスの
相手がおじさんの
ち○ぽだとは夢にも
思わなかったのだろう。



そ、それでは
ご主人様のおち○ちんに
キスさせていただきます…。

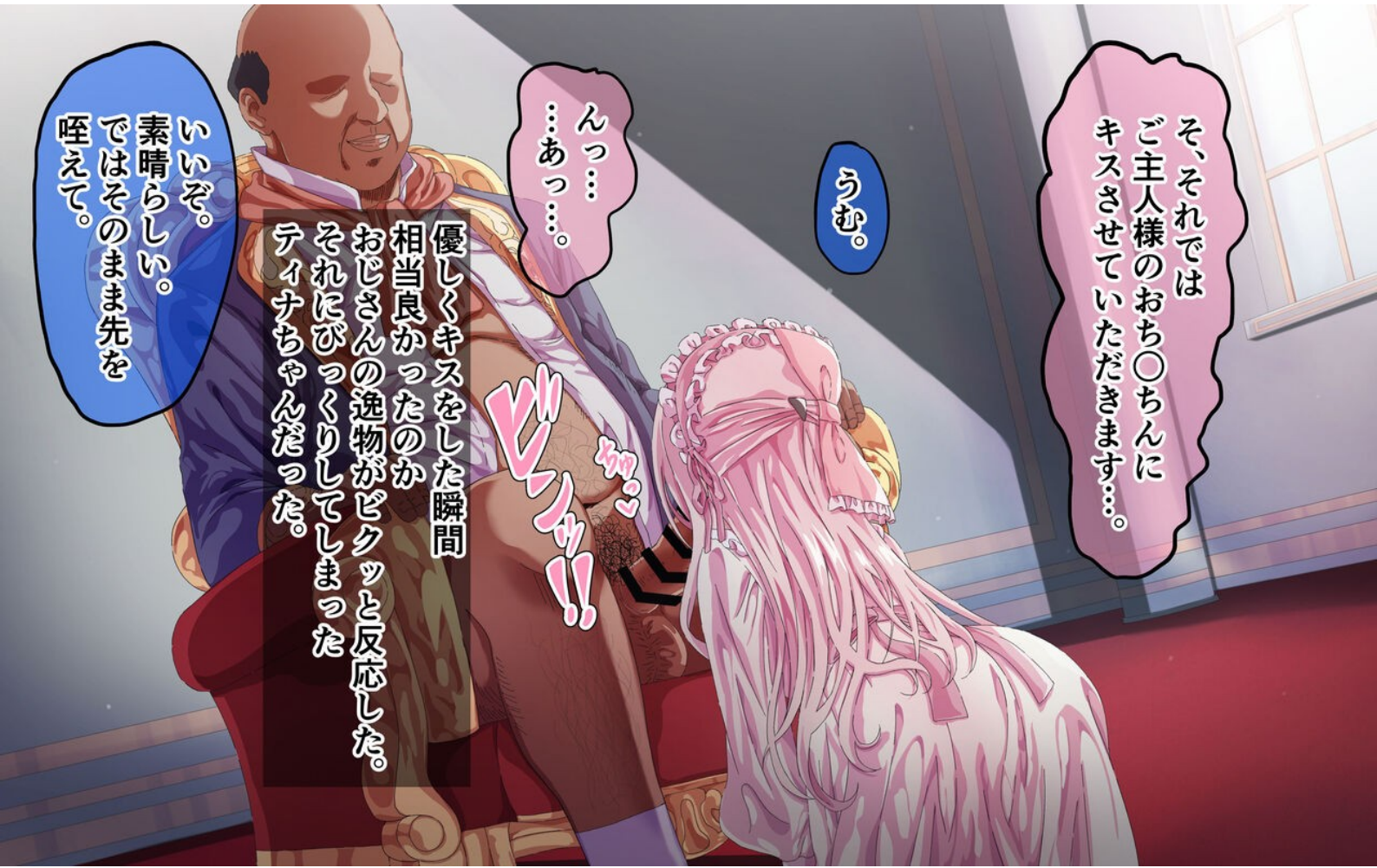
うむ。

んっ…
…あっ…。

いいぞ。
素晴らしい。
ではそのまま先を
啜えて。

優しくキスをした瞬間
相当良かったのか
おじさんの逸物がビクッと反応した。
それにびっくりしてしまった
ティナちゃんだった。

んっ♡
んっ♡
んっ♡





ほ…ほうれしゆか?

そうそう。
上手いぞ。

大きくて臭いそれを
必死に啜え込む
ティナちゃんだった。

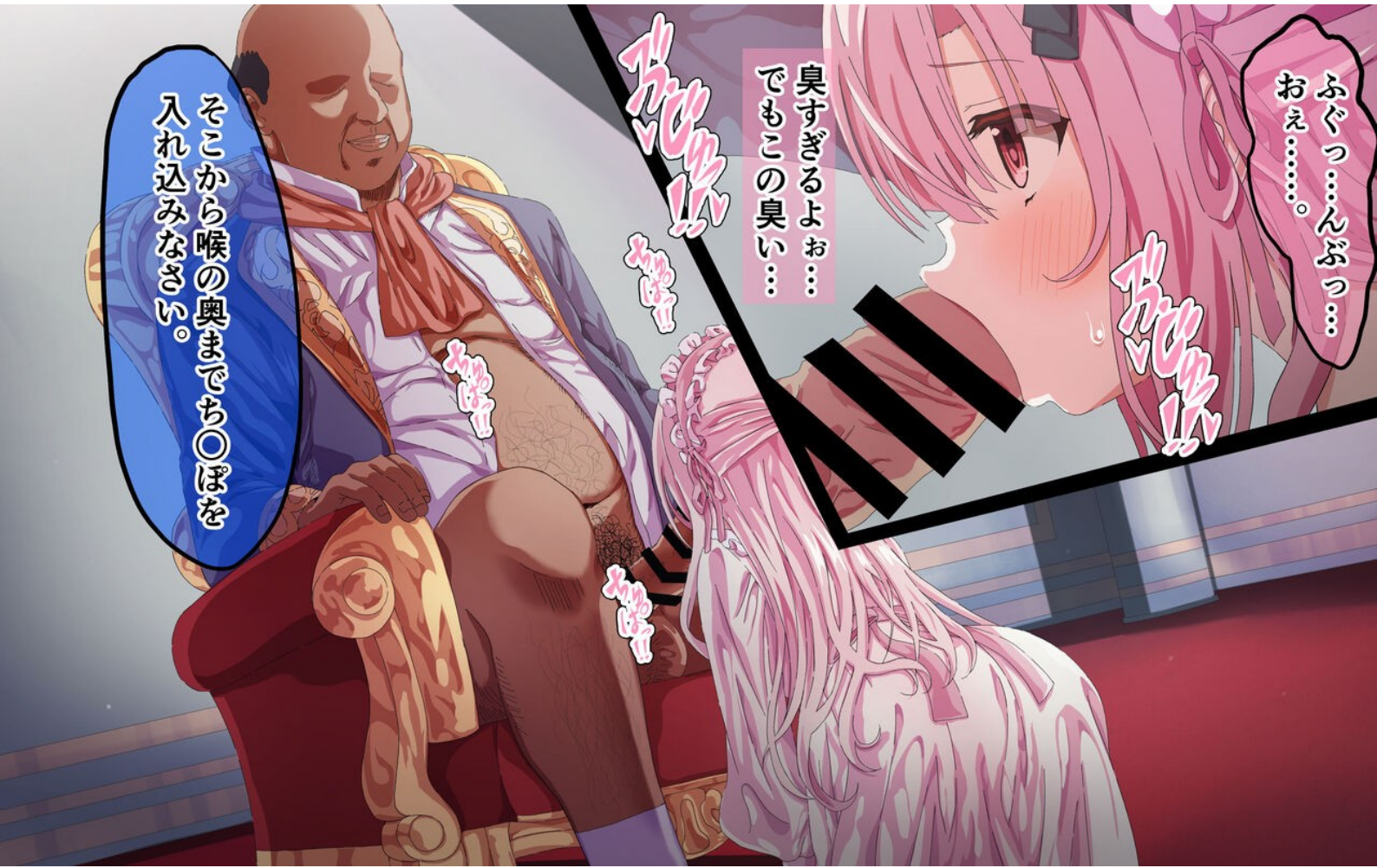
ちゅちゅ
ちゅちゅ

じゅじゅ
じゅじゅ

ふぐっ…んぶっ…
おえ……。

臭すぎるよお…
でもこの臭い…

そこから喉の奥までち○ぽを
入れ込みなさい。





そうだその調子だ。
もっと速く動かすんだ。

んぼぽっ!ちゅぽっ!
んぶっ!

グハッ!!

そり言つてティナちゃんの
頭を掴み凄け勢いで動かした。



んっ…じゅぶっ…
ちゅぽっ…

おお!!!
おお!!!
おお!!!

息ができない…
苦しいよお…

ゲロ!!!

心臓

心臓

そろそろ出すぞ!
しっかり飲み込め!

んぶううううう!!

んぶううううう!!

んぶううううう!!

熱いいいいいい!
回の中いっぱいに
広がってくりゆうう!!!

んぶううううう!!

んぶううううう!!

大量の精子が出されていく。

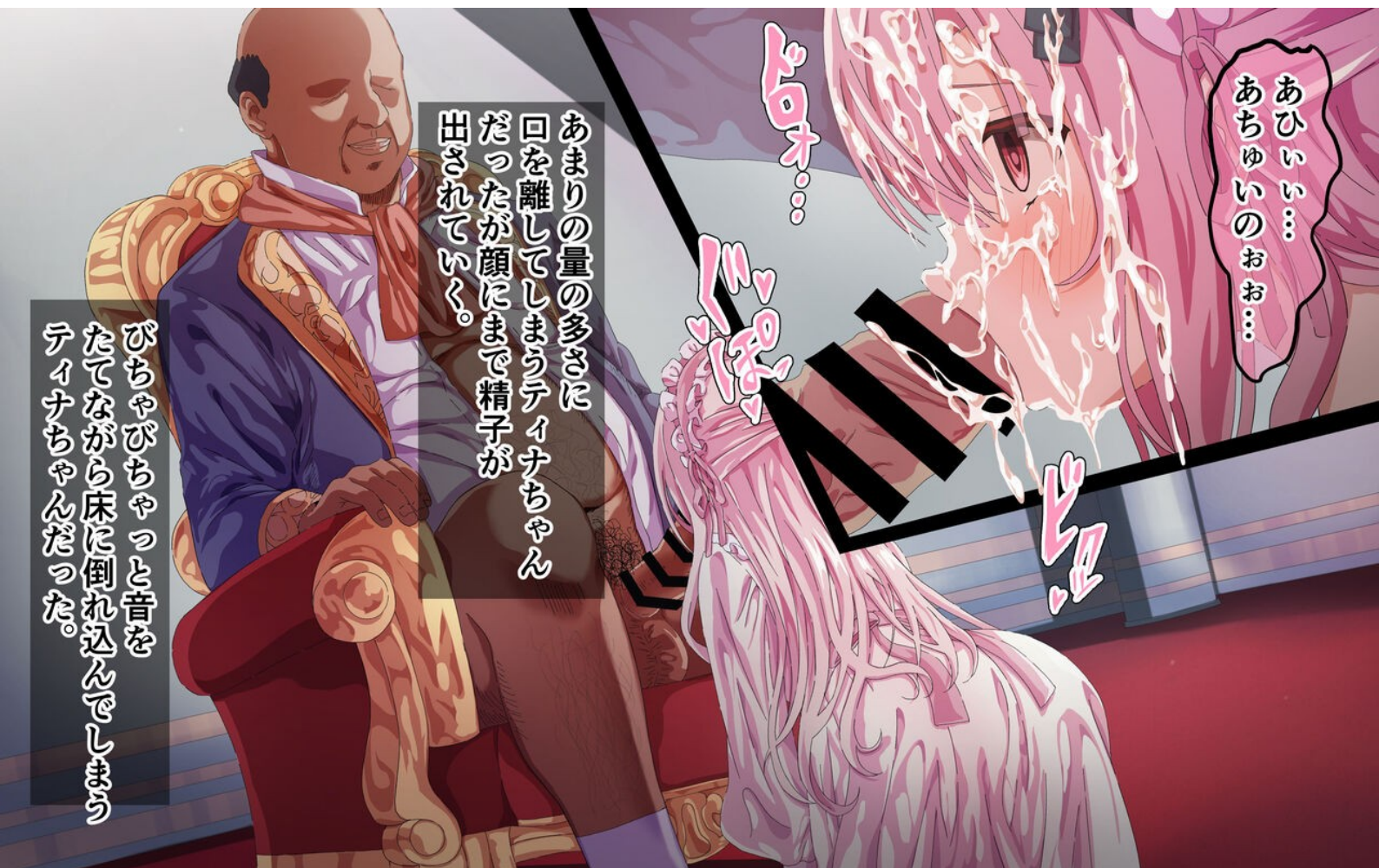


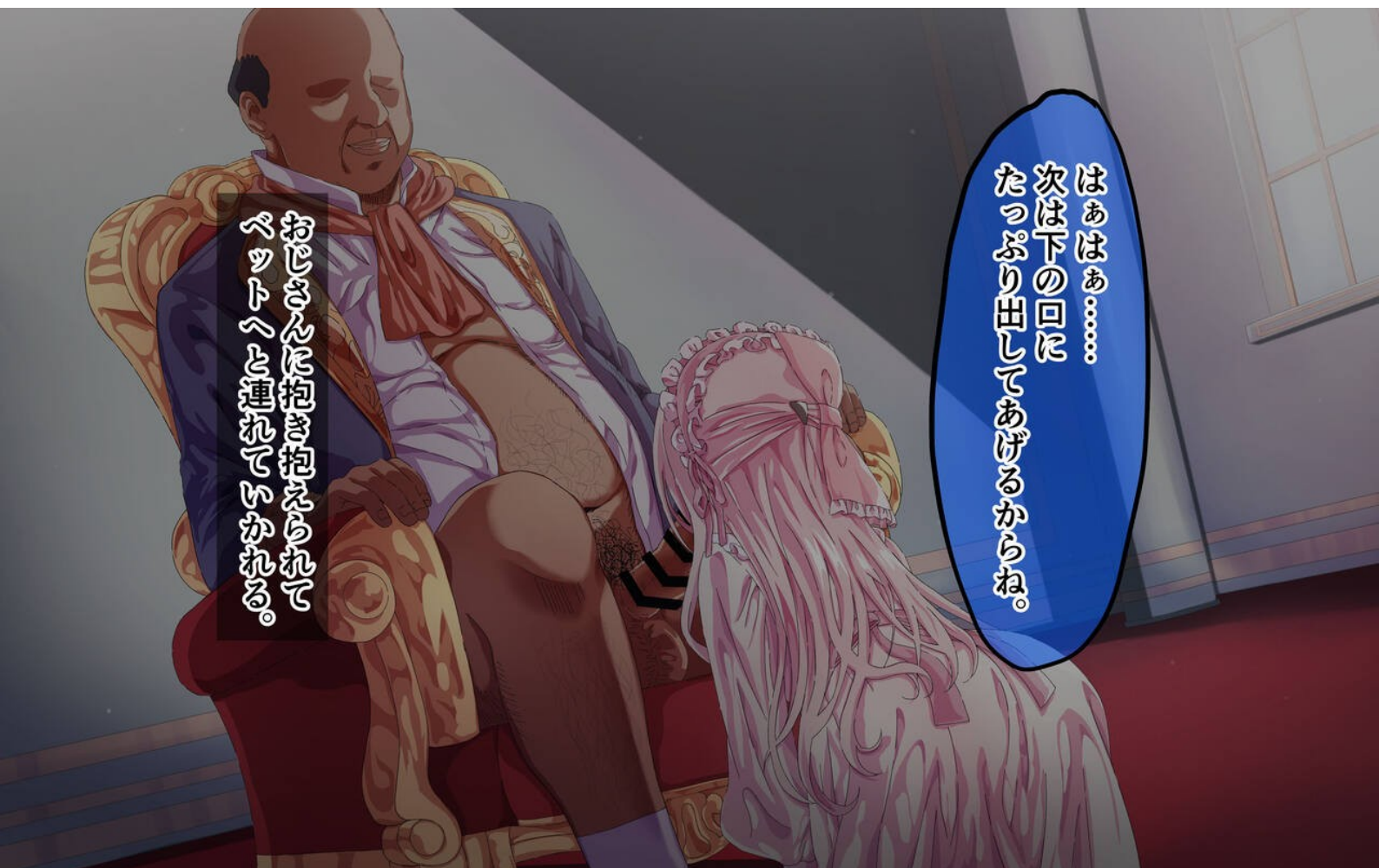
あひいいい…
あちゅいのおお…

どろろ…

あまりの量の多さに
回を離してしまおうティナちゃん
だったが顔にまで精子が
出されていく。

びちゃびちゃと音を
たてながら床に倒れ込んでしまおう
ティナちゃんだった。





おじいさんに抱き抱えられて
スットと種をしてくからだね。

はあはあ……
次は下の回に
たっぷり出してあげるからね。

さあ、お待ちかねの
本番の時間だよ。

そう言うと、おじさんは
ティナちゃんを
うつ伏せにして後ろから
抱きついた。

そして両手で胸と
お尻を同時に揉み
始めた。

あつ……
んっ……

わんわん

わん

わん

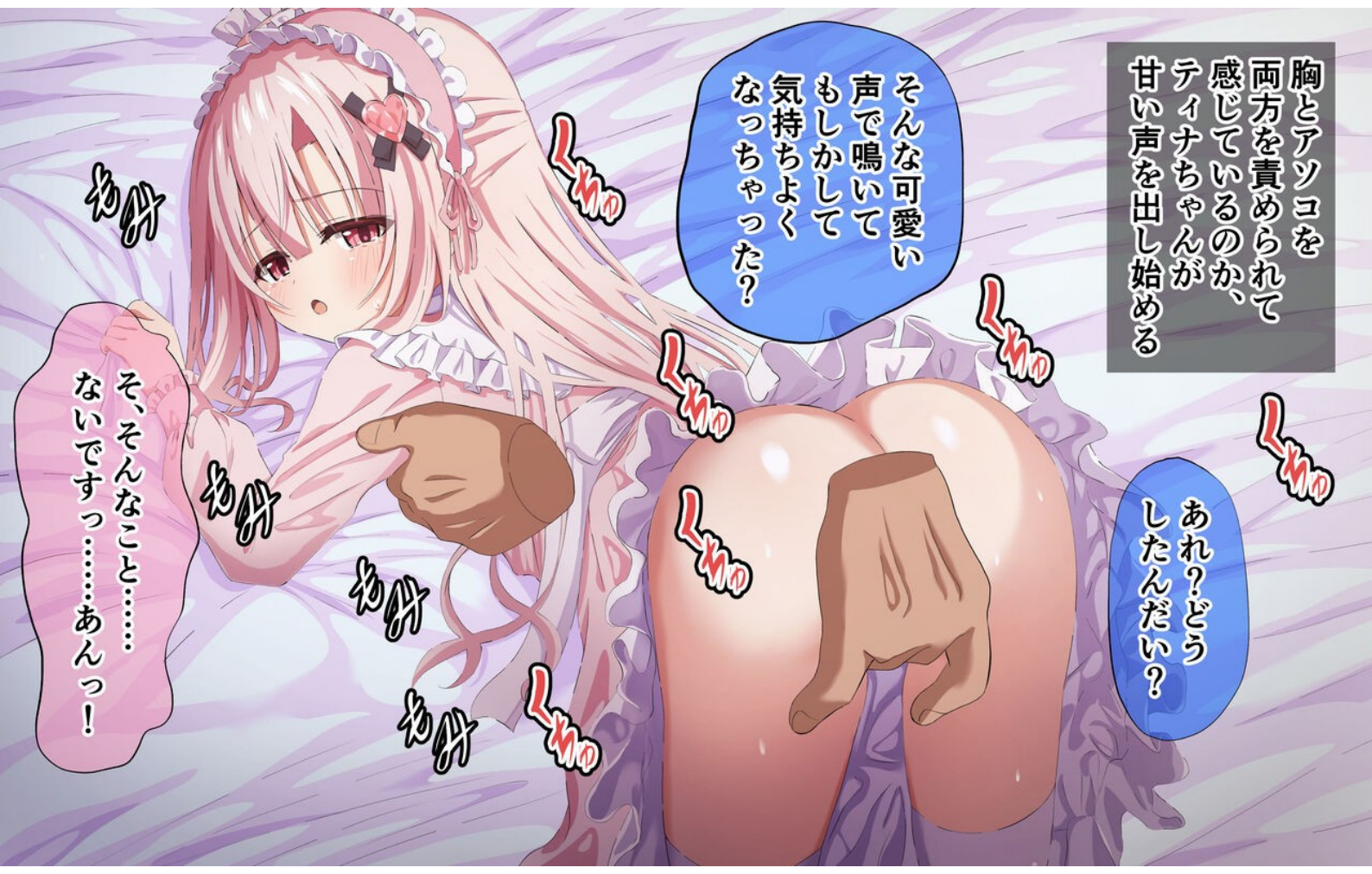


胸とアソコを
両方を責められて
感じているのか、
ティナちゃんが
甘い声を出し始める

そんな可愛い
声で鳴いて
もしかして
気持ちよく
なっちゃった？

あれ？どう
したんだい？

そ、そんなこと……
ないですっ……あんっ！



嘘ついちやダメじゃないか
布越しでもわかるくらい、
こんなに乳首ピンピンに
しちゃってるくせに

おじさんはそう言っつて
フリフリのロリータ服
を纏ったティナちゃんの
勃起した乳首を摘まむ

ひやあああん！……
ごめんなさいいっ……

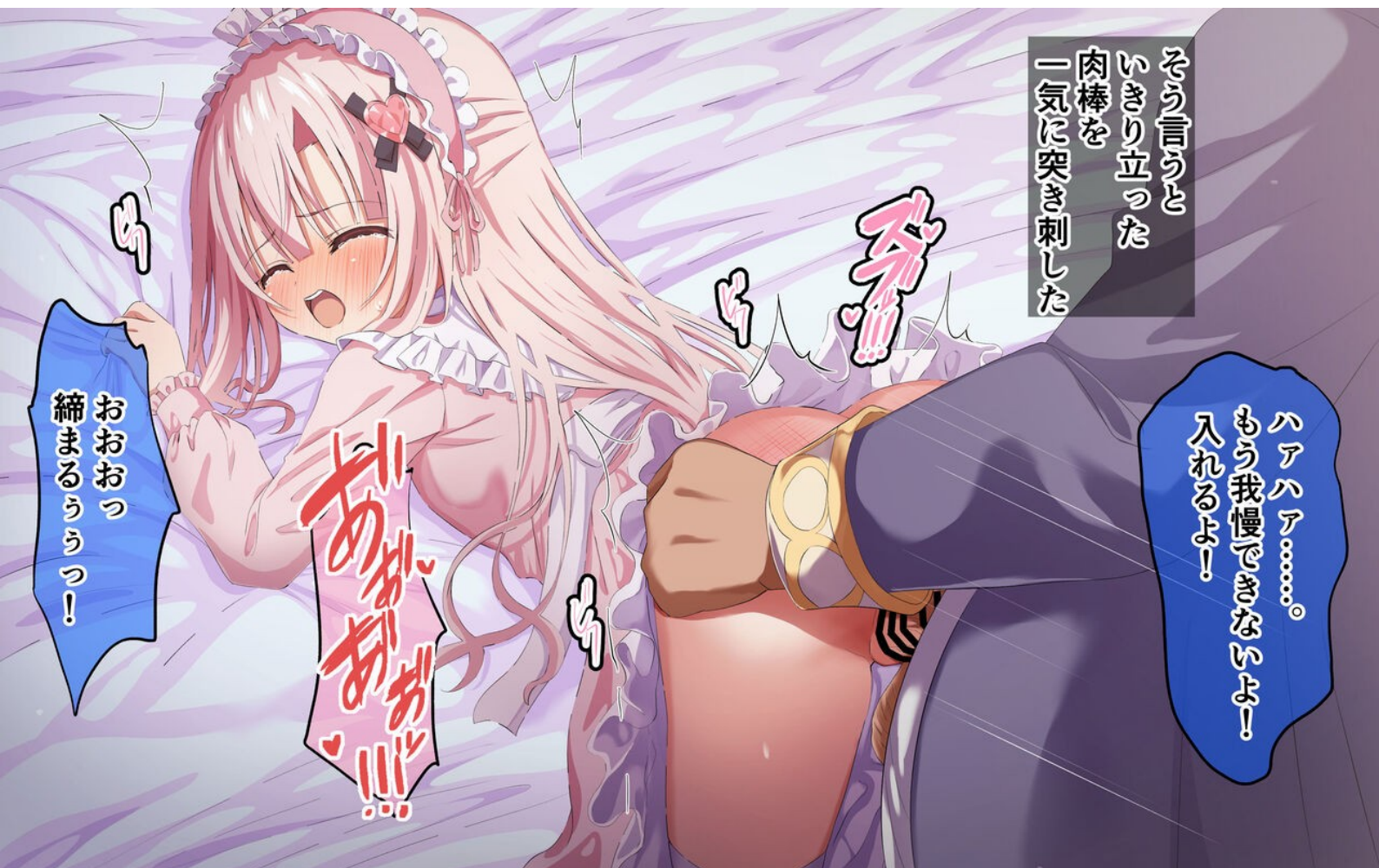




おじさんはティナちゃんのお尻に股間を押し付けて擦り付けてきた

素直じゃない子はこうだぞ!

ひゃうう!?!
おちんちん当たって……
やめて下さい……



そう言ったら
いきり立った
肉棒を
一気に突き刺した

ハアハア……。
もう我慢できないよ！
入れるよ！

おおおっ
締まるううっ！

おっおっ
おっおっ
おっおっ
!!!

ズ

おじさんが激しく
腰を打ち付ける
音が響く。

すごい締め
つけてくるねえ！
おじさんのチンポ
美味しいかい？

あひっ♡
あへええっ♡
しゅごっ♡♡♡

そ、そんなことお
言わないれ
くらさいっ♡



口では嫌々
言いながらも
体は正直だね！
ほらっもつと
突いてあげるよ！

あひいいいっ!?♡
イクッ♡
イっちやい
ますううっ♡

あ
お
お

テイナちゃんが
絶頂を迎えると同時に
膣内が収縮し、
おじさんのモノを
強く締め付けた

パン
パン
パン

大量の白濁液が
子宮へと
注ぎ込まれる。

々おっ出るっ！

んん

お♡

お♡
お♡

お♡お♡お♡
お♡お♡お♡

びゅん♡

出てるゆううううう
熱いのいっぱら
ぎてますううう
うううううううう♡♡

お♡
お♡

んん





ドクンドクンと
脈打ちながら
吐き出される精子を

受け止め、
再び気を失う
ティナだった。



そして一か月の
時が経とうと
していた

奴隸であるティナも
嫌々のご奉仕を
していたが
徐々に快楽を感じる
ようになってきた

ふひひっ!
今日はこれを
着ておじさんと
遊ぼうねえ

いやあ……
恥ずかしい
です……

もじもじしながら
言うティナちゃんの
姿はとても可愛らしく
おじさんの興奮は
さらに高まる

そう言うって
おじさんは
マイクロビキニ
を着せる

ほう
よく似合って
いるじゃないか

あ、ありがと……
ございます

あじい

あじい



すると、おじさんは胸を
驚掴みにして揉み始めた

あんっ♡
だめええっ♡

そんなこと言って、
本当は気持ち
いいんだらう？

ちっちが…

モオ♡
モオ♡



そんなティナちゃんに
バイブのスイッチを
入れてあげるよ

あっ♡
んんっ♡♡

乳首とクリトリス
が擦れて声
が出ちゃうっ

さすが感度も
バッチリだ

サッ
サッ

サッ
サッ

サッ
サッ

サッ

サッ
サッ

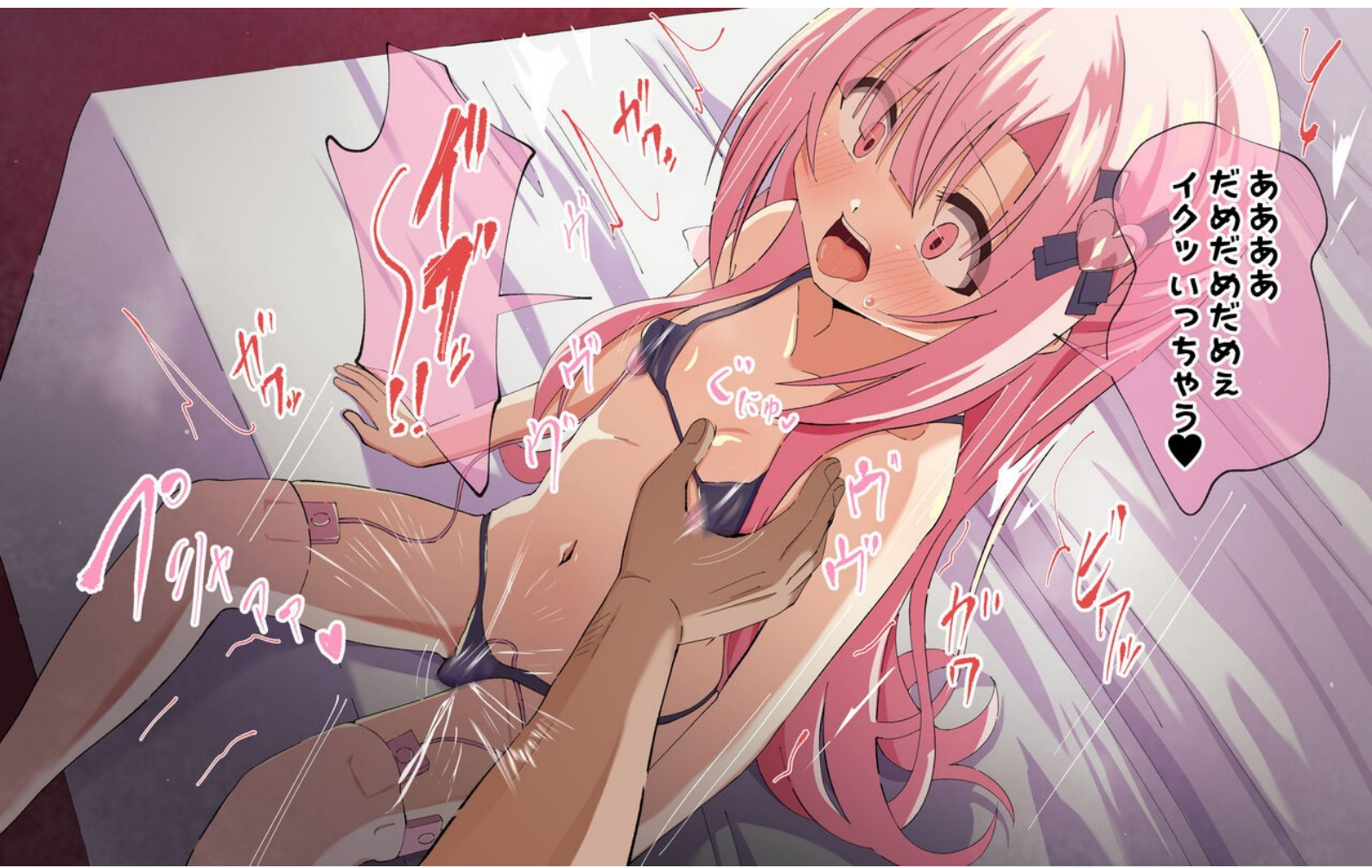
んづっ♡

ははっ
そんなに
情けない声
出してどうした？
ほれほれ！

だめっ
そこっ…
んっ！♡
敏感になっ
てるからあ♡

そんなに
気になってくれるとは
さすがドMの
変態ティナちゃん
だね！オラ
派手にいけ！





ああああ
だめだめだめえ
イクッ! っちやう♡



腰ガクガク
しちゃって
可愛いねえ〜

じゃあそろそろ
仕上げと行こうか

あっあひっ
ん♡あっっ♡

びびっ♡

びびっ

やア

びびっ♡

そういうと
突然扉が
開いた

え？
だ…だれ
ですか？

ひっ

おお
やってるねえ

おお
可愛い奴隷だ
羨ましい

がく、
びんぎん





どれどれ

ははは
だまっちゃって

ヤア

...

君何歳？
随分ちっちゃいねえ

ヤア

おお本当だ
べっぴんさんだ

ああ
紹介が
遅れたね

この方達は取引相手
で君のような奴隷を
貸し出しして楽しんで
もらってる方達さ

いやー
随分小さくて
可愛い子が来た
と聞いて半信半疑
だったが
来て正解だったよ

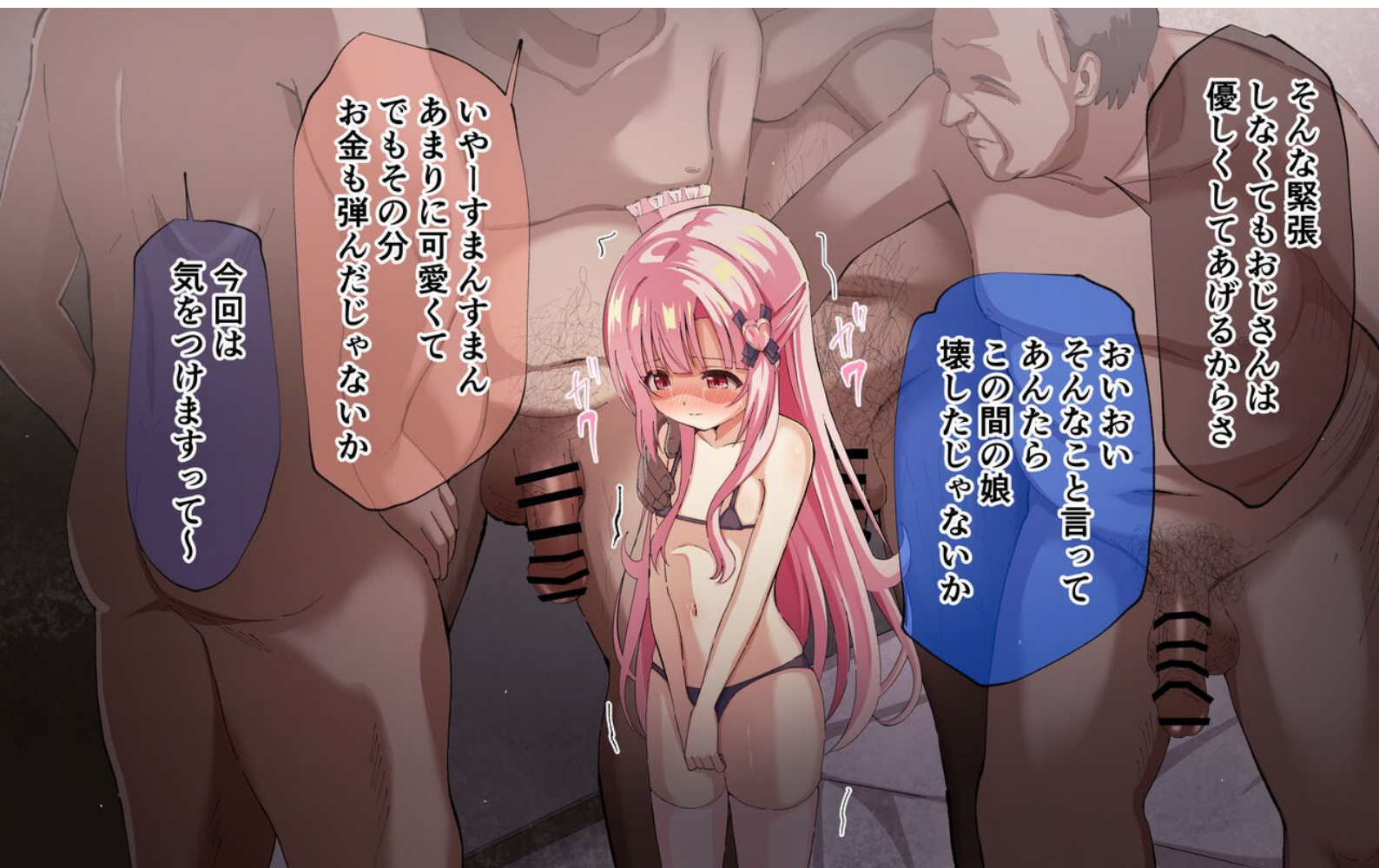
ティナは
あまりの恐怖に
言葉が出ずに
ビクビクと
固まっていた

そんな緊張
しなくてもおじさんは
優しくしてあげるからさ

おいおい
そんなこと言って
あんたら
この間の娘
壊したじゃないか

いやーすまんすまん
あまりに可愛くて
でもその分
お金も弾んだじゃないか

今回は
気をつけますって〜





じゃあ
ティナちゃんと
言ったかな？
おじさん達と
いっぱい気持ち
いいことしょっか

ん...ん...

ん？
声が小さいなあ

まあまあ
怯えてて可愛い
じゃないですか

じゃあ
行こっか ♡

何も抵抗できず
ペットの上に
連れて行かれる
ティナだった

がが

が

びり

ペットに両手は縛られ
M字に無理やり開脚されて
身動きとれないティナ

つるぷになおまんこは
いやらしくビクついてらる

これは絶景
ですなあ

羞恥で泣き出し
そうになるティナ

ひっ…みないでください…
お願いします…



なんだ？
まだ調教できて
ないのか

なるほどたしかに
無理やりやってる感
があつてますます
興奮しますな

いやいやティナちゃんの
売りはこのいつまでも
ピュアな反応だよ

ひゃんっ!?

おじさん達が
頭をなでると
恐怖で声が
漏れるティナ



可愛いねえ
もうおちんちん
びんびんになっちゃったよ

とってもいい
香りだね奴隷
とは思えないよ

許して…
ください

そういつて
じぶんの性器を
しごき出すおじさん達

ダメ……
そんなえっちな
ことしちゃだめです……

ティナは顔を
赤らめて首を横に振る

なんて可愛いんだ！
おじさんとチュウ
しようティナちゃん！

ふへ？

呆けた声を出すティナの唇におじさんの口が重なる

んっ！？んん！！

いやっ！
こんなのいやあ！

じたばたと暴れるがおじさんに押さえられて抵抗できないそのまま口内を蹂躪されていく

んちゅっんっ
むえっんちゅっ

ふはあ……いい顔だよ
ティナちゃん……れろれろっ

んむっいや……
お願いです……
やめてください……

涙目で懇願するティナしかしおじさん達の興奮を煽るだけだった



おまんこもぬれぬれだ
じゃあこのおもちゃ
つつこんであげるよ

そういうと勢いよく
ティナの秘部に
パイプを突っ込んだ

痛いっ!
痛いよお……

んぎょー!?

あまりの痛さに
悶え苦しむティナ

おいおい
いきなりそんな大きい
ものつっこんだら
可哀想だよ

ああすまんつい
夢中になってしまった

別のおじさんが
パイプをやさしく
抜き差しする

ふあっあっあっ♡

どうだい？
気持ちいいかい？

んっ……♡
んん……♡
いっ……♡

ダメ…なのに
声出ちゃう



うーんまだ調教が
足りないかじゃあ
これでどうかな？

いやっ！？
ダメツ！ダメですう！
壊れちゃうう！

とパイプを激しく
動かし始めた

ティナはビクンツと
身体を跳ねさせる

おは
おは
がし
がし
おは
おは
がし
がし
おは
おは
がし
がし

あれ？
イツちゃったの？
変態さんだね

ふえええん

ティナは恥ずかしさの
あまり泣き出してしまっ

泣いてる顔も可愛いよ！
じゃあ次はおじさんの
を舐めて貰おうかな？

じゃあみんなで
ティナちゃんの穴という
穴を楽しみましょうか



おじさん達はティナを
囲むように立ち大きな
ちんぽをティナに見せつけた

いやあ……
許してくださいい……

誰か
助けてえ……

ティナちゃんは奴隷なんだから
ちやんと言う事聞かなきゃ
ほれ舐めなさい

ひっ……
はっはい……

逆らえないティナは
嫌がりながらも
ご主人さまに教え込まれた
フェラを披露する





ちゅぽっ
んっじゅぷっ

うお!
気持ちいいぞ!

音をたてながら
おじさんのちんぽを
しごくティナ

んちゅっんっぷっ

くさい……
ご主人様と同じ
くらい太くて長い……

ティナちゃん
こっちもしごいて!

あーずるいぞ!
こっちもだ!

いぽっ
いぽっ

両手でおじさん達の
ちんぽをしごき始めるティナ

じゅぽっ

ああっいいい!
すごくいいぞ

ほうっ…れすか…?

いっ

しゅん

しゅん

じゅぽっ

このちっちゃくて
柔らかいおててに
しごかれてるだけで
興奮しますよ

しゅん

じゃあぼくは
ティナちゃんのおまんこを堪能
させてもらおうかな？

！？
らっらめっ

構いませんよ？
じゃあ私はティナちゃんのおまんこの穴にぶち込むとしよう

そ、そんなっ！

じゅぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ



おごっ！あがっ！

ティナの回から
苦しそうな声が聞こえる

おおすごいつ
なんて締めまりだ！
わたしのちんぽを
逃さないようにしてるのか！
このど淫乱め！

尻は初めてだが
なかなかじゃないか

容赦なくピストン
運動を続けるおじさん達



おごっ!
あがっ! んん! !!

パン!

パン!

ティナは
苦しきのあまり
意識が飛びそうになり
痙攣している

苦しい……
死んじゃうううう

おお! すごい
舌使いだ!

おじさんはティナの
頭を掴んで腰を振る

息ができない

そろそろ出すぞ!

わたしもだ

パン!

パン!

パン!



さあ全部飲め！

熱い！
臭い！
苦いよお！

涙目になりながらも
必死に飲み込むティナ

んっ……ごっくっ
うえっ……

と優しく頭を撫でられる

ふう気持ちよかったよ
ティナちゃん

やっと
終わった……



ひぎっ!
なっなんれえええ!

終わったと思っただのも
つかの間再び動き出す
おじさん達

まだまだこれからだよ

こんなんでも満足する
わけじゃないじゃないか

まったくだ

ひっ……んぼっんちゅっ
もっもう許してっ
くりゃしゃいい

ティナは泣きながら
許しを乞うが
おじさん達は興奮を増した
様子でさらに激しく動き始めた





いやああ!

卑猥な音が響き渡る

いいよティナちゃん
もっと強く握って!

こっちも
もっと早くしてよ

子宮おりてきて奥に
こんこんあたってるね

おらあもつと
けつの穴締めろ!

はあはあ...
喉まんこサイコー!

んびゅっんっ
苦しっんんんっ

ティナのお腹がぼっこり
膨れ上がるほど大量に
出た大量の精液は胃の
中に収まりきらず
逆流して鼻からも溢れ出してくる

ゲホっゲホっ

ふういっばい出たな

こっちもだ

ずるっとちんぽを抜かれると
栓を失った穴からは
大量の白濁液が流れ出した

まだまだお楽しみは
これからだよ？ティナちゃん



いやあああ……!

両腕と両足をおじさんに
捕まって身動きできないテイナ
仰向けに寝かされた状態で
大腿を開脚させられている

ガク

テイナちゃんのおまんこ
小さくて可愛いねえ

すらすら

みっみないで
ください……
お願いします……

ゆら

そこには先ほど別の
おじさんが出した
精液が溢れていた

ガク

いいねえ
じゃあおちんぽいれて
あげないとね!

ずぼっと一気に
奥まで挿入された

ひぎっ!?
あっあっあああ!!
痛い! 裂けちゃうう!!

突然の強烈な快感に
思わず悲鳴をあげるティナ
その反応を見たおじさんは
嬉しそうに笑いながら
ピストン運動を始めた

パンッパンッと肉同士が
ぶつかり合う音が響き渡る

どうだい?
気持ちいいだろう?

ひっぎい! 痛いっ
やめへええ!

パンッ
パンッ

パンッ
パンッ

パンッ
パンッ

パンッ

パンッ

嘘はいけないよ！
こんなに締め付けておいて

んぎょー？

おっ！！

あまりの質量に思わず
目を見開くティナだったが
同時に快感も感じて
しまっているようだ
その証拠に愛液が
溢れ出している

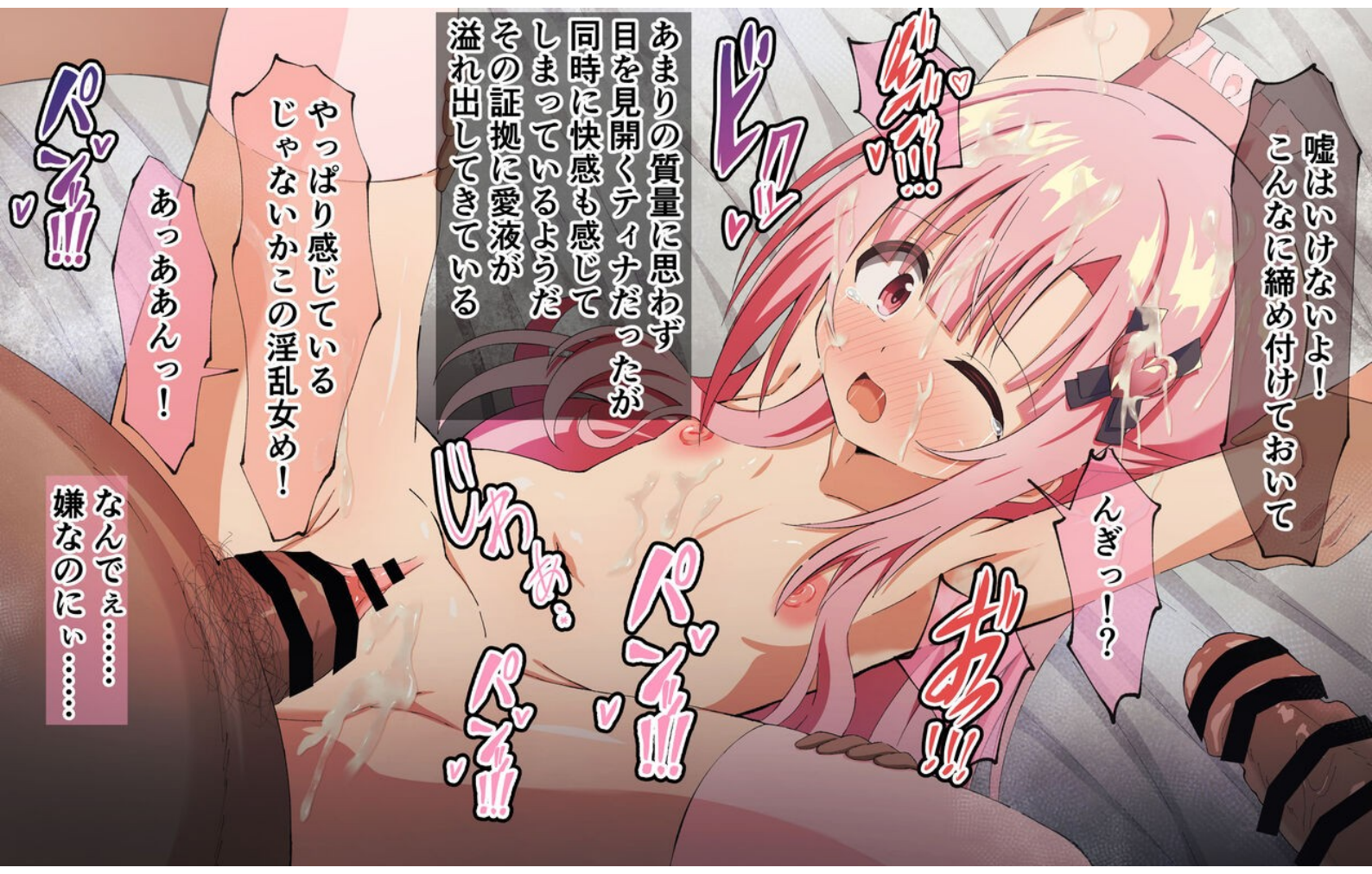
やっぱり感じている
じゃないかこの淫乱女め！

あっああんっ！

なんでえ……
嫌なのにい……

んぎょー
んぎょー！！
んぎょー！！

んぎょー！！



ティナが堕ちるまで
もう少しといったところだ
おじさんはさらに動きを早める

子宮口に亀頭を
押しつけて
ぐりぐりしている

ここ気持ちいいだろうっ
ほら言ってみなさい

ひぎゅっあつ
そこだめええっ!!

ビクビクツと身体を
痙攣させて絶頂を
迎えるティナ

ひぎゅ
あつ

ひぎゅ

ひぎゅ

あつ

ひぎゅ

あつ

しかしそれでも
なおおじさんは
腰を振り続ける

何度もイカされ
続けてついに
限界を迎えるティナ

お願いもう
ゆるしてえええ

もうイキすぎて
おかしくなるうう

許して

くださいだあ？
奴隷のくせに
なにいつてんだ！



そういうとティナの首を力任せに締め上げた

うっぐ……ぐるじ……

呼吸が出来ずに苦しむティナだがおじさんは構わずピストンを続ける

苦しい……死ぬう

ふう……そろそろイクぞ中に出してやるからしっかり受け止める

と言うとおじさんにスピードを上げた

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン



うおおー出るー!!

おおおお!!!

おおおお!!!

おお

おお

熱いものが注がれて
いるのがわかると同時に
ティナも絶頂を迎えたようだ

あついでい

ビクビクッビクッ
ビクッと
身体を痙攣させ
そのまま意識を
失ってしまった

ふう…ん？
ティナちゃん？
奴隷のくせに
意識飛ばしちゃった？



なに勝手に寝てんだ
オラァー!!この便器が!!

別のおじさんの
拳がティナのお腹を
容赦なく殴りつける

おっ!!!

が!!

ん

ん

ん

ん

ん

ん

殴られた衝撃で
目を覚ますティナ
だったが休む暇もなく
次のおじさんが挿入してきた

オラア！まだ
終わりじゃねえぞ！

パンパンツという
音と共に激しい
ピストン運動が始まる

ひぎいっ！
もう許じでえっ！



回答してんじゃ
ねえぞクソガキが!!

そういつと再び
拳を打ち付けた

おえええええええ!
ごめんなどざああい!
ティナは皆様の肉便器の
雌奴隷ですうう!

泣きながら謝り
続けるティナだが
それでもなお責めは続く



おん

おらああああ!

謝っても尚拳を振り下ろした

おん

おん!!!

おん

おん!!!

おほおおおおお!?
にやんでええ!
お腹ああ!やめでええ!
赤ちゃんできなく
なっっちゃうのおおお

だったら孕みやがれこの淫乱が!

と言いながらさらに強く殴りつけるおじさん

しり

しり

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

ひぎゃあああ!!
イグうううう!!
いぎましゅうう!!

プシヤアアアッ!
と潮を吹き出すティナ

同時に膣内がきつ々
締めまりおじさんも
射精したようだ

ドクンドクンと脈打つ感覚と
共に熱いものが子宮の中
流れ込んでくるのを感じた

かひね

おんおん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

ひあ……なかに
いっぱい出てる……

ビュッ

おおおお……

グッポッ!!!

とろろ……

グッポッ!!!

ビュッ

ブン

ズ

虚ろな瞳で咳くティナだったが
休み暇もなく次の
おじさんが挿入してきた

ブン!!!

日が昇るまでティナは
おじさんたちに犯され続けた

長い間気を失っていたティナは
掃除がおこなわれてないような
汚れた公衆トイレに縛り付けられていた

うう……

身体中が痛い……
ティナ何も悪いこと
してないのに……
なんでえ……？

ししし

ううっ……
ひっく

泣いていると
遠くから足音が
聞こえてきた

誰……？

うん

うん

うん



そう思って顔を上げるとそこには
ティナのご主人さまが立っていた

ご主人様あ……

思わず締るような声
を出してしまった

すると彼は
ニヤリと笑った

可哀想になあ……
こんなになるまで
痛めつけられて……



そんなティナちゃん
みてたら興奮してきたなあ！

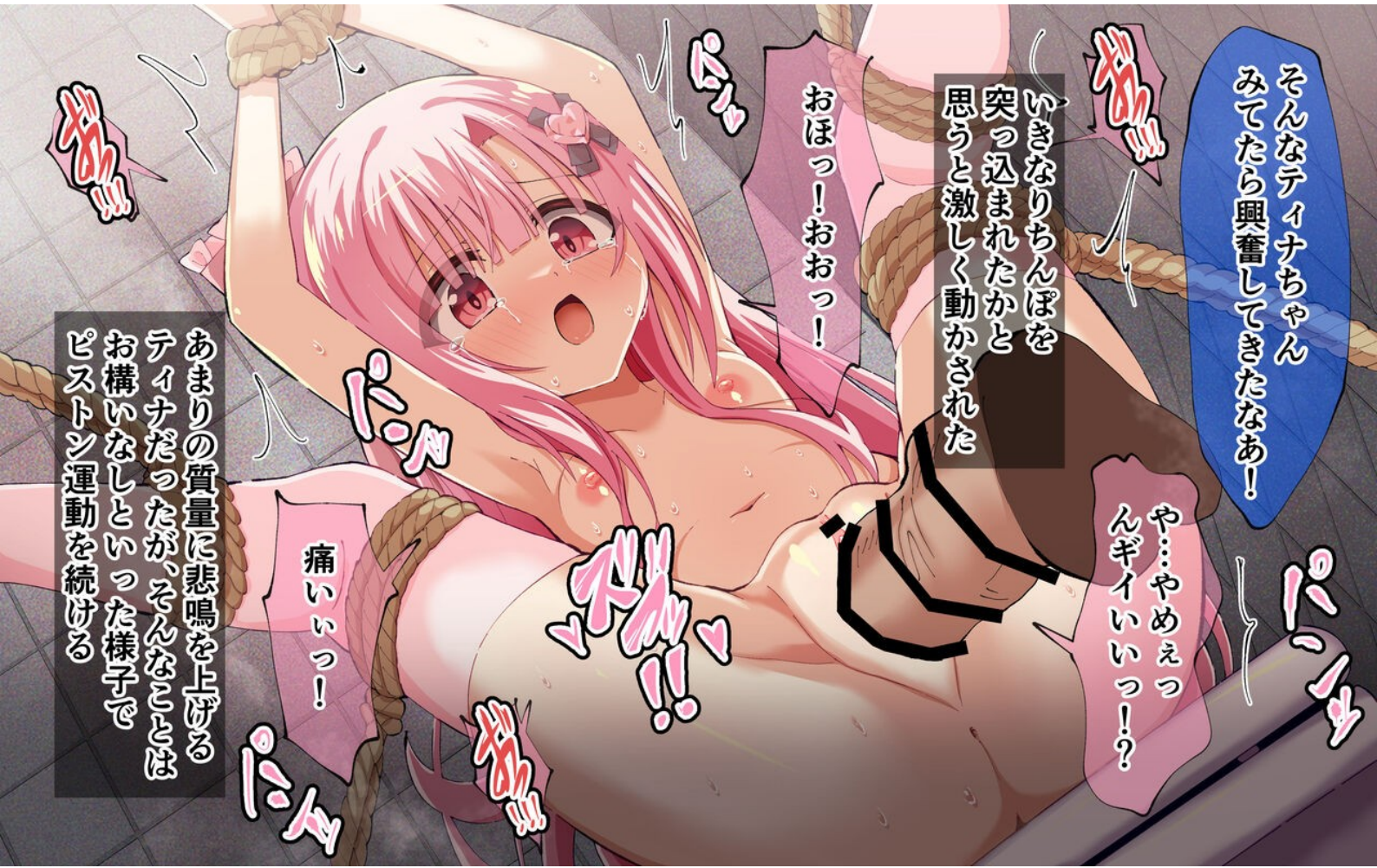
いきなりちんぽを
突っ込まれたかと
思うと激しく動かされた

おほっ！おおっ！

や…やめえっ
んギイイっ！？

痛いっ！

あまりの質量に悲鳴を上げる
ティナだったが、そんなことは
お構いなしといった様子で
ピストン運動を続ける





おお！いいぞお
その泣き顔
たまらんなあ！

パンツ！パァンツと
肌同士がぶつかる音が響き渡る

もうやめてえ……

激しい痛みにも悶え苦しむ
ティナだったが、
そんなことはお構いなしと
ばかりに腰を動かして
続けるおじさん

ああ……また
出されちゃった……

放心状態のティナの
太ももにマジックで
文字を書き始めた

こっちもだな

『肉便器』と書いて満足げな笑みを
浮かべるおじさんだったが、
さらに体の至る所を書き出した



これからここにきたやつに
中出しをしてもらって
正の文字を書いてもらうんだ

無事1000人に書いて
もらえば君を
開放してあげよう

本当に……？

えっ!?!?
そんな……

もちろんさ

ほら最初の1人目が
来たぞ! じゃあ
頑張ってね

新たにやってきた男が
ニヤニヤしながら言った

ん

んんん

んん

んんん

んん

おは使器の

んんん



おお随分可愛い便所だなあ：
じゃあさっそく
楽しませてもらおうか！

そして一気に奥まで
挿入してきた

ひぎいっ！？

やだっ！
抜いてえ！！

泣き叫ぶティナだったが
そんなことを気にせず
ピストン運動を続けるおじさん

お便器

お便器





はあはあこんな
ちっちゃい便器初めてで
ますます興奮しちゃうよ

いやっ
動いちゃやだあ

これは便器の
穴

イクよ! いっぱい
出してあげるからね!

ダメえ!
だしちやつ



ドクンドクンと脈打つ
感覚と共に温かいものが
注がれていくのを感じた

ふう…よっかたよ
中出しのしるし
書いてあげるね

自由に…

お便器

あ…ありがとうございます
ございますう…

おい早く変われよ

んん

んん

んん

んん

次のおじさんが挿入してきたと
思ったら今度は回にも突っ込まれた

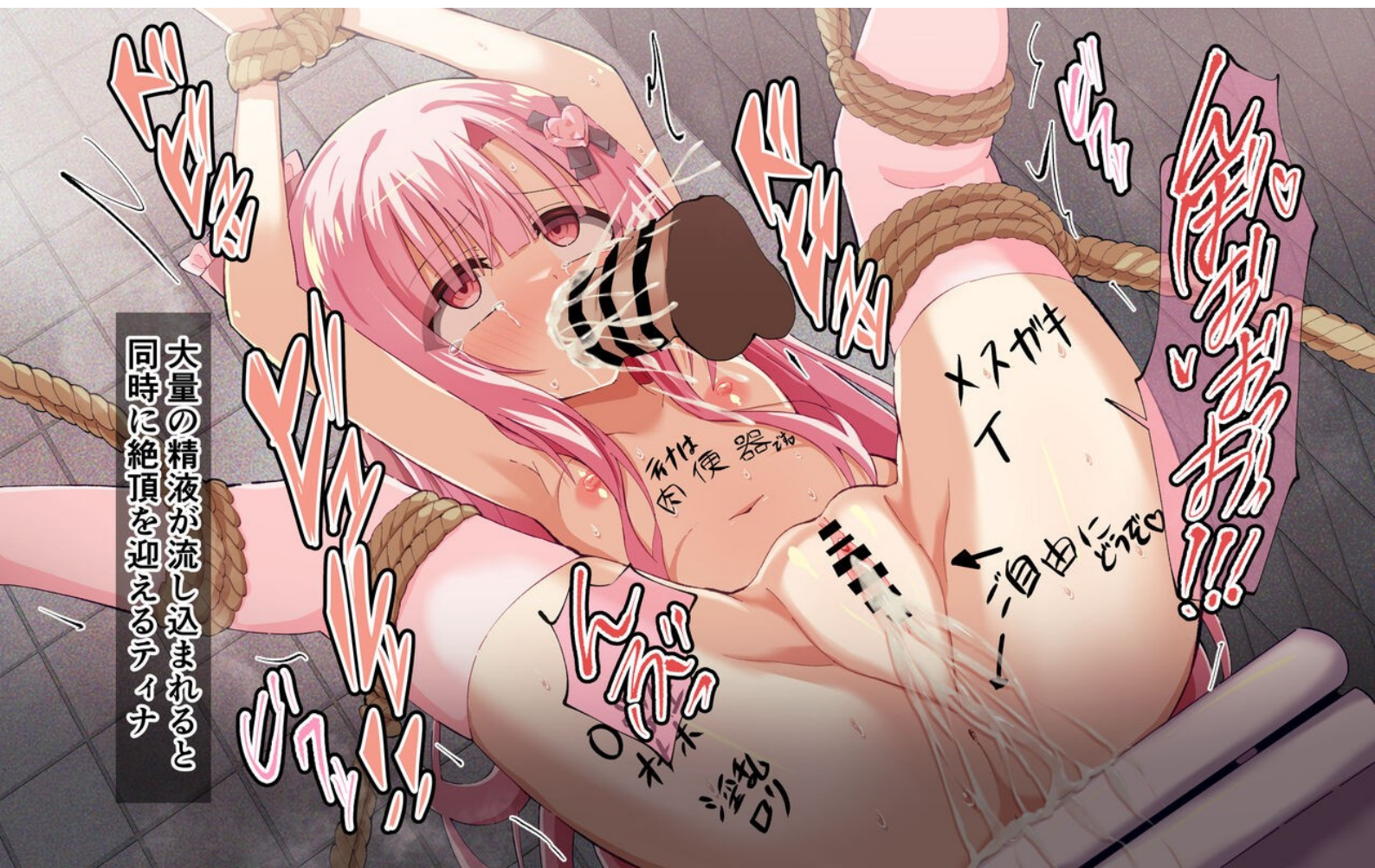
喉の奥にまで届きそうなほど
深く入り込んでくるもの
だから苦しくてたまらない

んぼっ！ぶぼっ！
そこ違っ

息もできないまま必死に
耐えるしかなかった

出すぞ！全部
飲み込めよ！





大量の精液が流し込まれると同時に絶頂を迎えるティナ

当然正の字も書いて
もらえずに休む暇もなく
次のおじさんが入ってきた

と言い終わる前に
もう挿入されていた
激しくピストン
運動が始まる

さらにスピードが上がる
ティナはもう限界だった

おお！いい締め
付け具合だ！

ぶっ！おおおっ！
おほおおおおお！？

くっくっくく

おは
器
使
不
器
使
不



出すぞ！しっかり
受け止める！

おほおほお！！

熱いものが子宮の
中に叩きつけられる

そしてしばらくティナの
意識は飛んでしまった



それから数時間が経過し
回にはギャグボールを
つけられて正の文字も
かなり増えていた

きつたねえ便器だなw
こんなのやる気にならねえな
写真だけ撮って帰るかw

んんんっ……

見ないでくだ
ひゃい……

いつのまにかSNSにも
拡散されていて写真だけ
取りに来るやじも増えてきた





また別の男が
やってきた

おおSNSで見た
とおりだ!
ではさっそく

んごおおっ!
んっんっ

おおすっげえ
締まる!!

んんんっ!

こんな格好で...
いやああああ!

出るぞ!

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

おは使器

それから何時間経っただろうか？
身体中ザーメンでベトベトで
目隠しはされアナルとまんこには
大量の精液をふたするかの
ように刺さっていた。

おーいティナちゃん？…
ああwこれえはひどいw

んう…
んっん

そこにあらわれたのは
ご主人さまだった

ティナの意識は朦朧としていて
生きているのかさえ怪しい状態だった



随分可愛がってもらった
みたいだねえ：
こんなボテ腹になっちゃって

正の字は残念ながら
100には達して
ないようだねw
残念だけど約束だ

ん……んが……

まあこれじゃあ
奴隷じゃなくて
それ以下の肉便器
だけだなあw

あ……ああ

肉便器
ハッホ701
正正正
○学生
木
淫乳
ロリ



ティナにはご主人さま
の声は届いていなく
走馬灯のようなものが見えていた

ティナ…

優しいお兄ちゃんと
結ばれたんだ…



えへへ嬉しいな…

決して叶うはずのない
夢を思い浮かべながら意識を失った
そして終わることのない絶望へ…

Fin











